

安心 & 幸せ

ろうふくきょう
労福協
KYOTO

発行
京都労働者福祉協議会
京都市中京区壬生仙念町
30-2 (ラポール京都内)
TEL 075 (821) 5551
FAX 075 (801) 7600
発行責任者 稲葉伸二
E-mail : rofukukyo@labor.or.jp

第52回定期総会

ライフサポートセンター 設立めざす！

格差と貧困のない社会めざす運動を！
地域共生で暮らしに夢を、活力ある福祉社会を！

5月29日、ラポール京都で第52回定期総会を開催しました。

総会議長に京都総評の稲村守事務局長を選出、来賓に京都府商工労働観光部山口寛士副部長、京都市文化市民局共同企画社会推進部芝田幸次担当部長を迎え、挨拶に立った木戸美一会長は『ミャンマーのサイクロンや中国の四川省大地震で多くの尊い命が奪われた。深い哀悼の意を表すると共に被災者救済に向けた人道支援、復興支援を願う。日本においても年金・福祉・医療をめぐる、人間の尊厳や人命軽視の動きがでている。「宙に浮いた年金記録」や「後期高齢者医療制度」など、小泉政権以降の行き過ぎた規制緩和や



効率化・省力化優先、市場万能主義によって、格差と貧困が広がり社会を荒廃させ社会的弱者に、より重い負担をかけようとする政治に国民の怒りや悲痛な叫びは頂点に達しつつある。社会の不条理をただす運動をこれからも展開していく。05年12月に創設した「き

ようと市民活動応援提携融資制度」が高い社会的評価を得て「パートナーシップ大賞」や「企業フィランソロピー大賞」「朝日企業市民賞」を受賞した。4月には、京都市から「近畿労金に公金一億円を預託し、この制度と提携したい」との要請を受けた。制度の共同創設者である近畿労金、きようとNPOセンターと相談の結果、要請を受け入れて、金利引き下げや融資枠拡大の改正を行い、官民協働でNPO支援を進めることとした。

このような運動の広がり、さらに広範な勤労府民・市民の生活サポート活動に発展させる「ライフサポートセンター」としてぜひ08年度内に実現させ、地域に顔が見える労福協運動への改革を進めていきたい」と力強い決意を述べた。

総会では活動の基調として①京都労福協改革の取組み、②社会的課題の運動や政策・制度要求実現の取り組み、③勤労者の総合生活



支援、暮らしのサポート事業の体制づくりの取り組み、④事業団体の活動を支援するとともに労福協の社会的役割を果たす基盤づくりの取り組み、⑤退職者・高齢者との連携強化、次世代活動家育成の取り組み、など全議案が承認され、会長に木村幹雄、事務局長に稲葉伸二の両氏が新たに選出され、「弱者を切り捨てる社会でなく、人間らしい労働と生活ができる格差と貧困のない社会を願う広汎な人々と行動を起こそう」との総会宣言が採択されました。

異議あり！後期高齢者医療制度

中央労福協が撤廃に向け国会前で緊急行動

笹森会長、6月5日参議院厚生労働委で意見陳述

75歳以上高齢者の年金から保険料の天引きが始まった後期高齢者医療制度。

厚生労働省の不手際や説明不足への不安や、財政削減優先で高齢者に負担を強要する欠陥だらけの制度に「年寄りには死ねというのか」「75歳以上をなぜ差別するのか」と不審や怒りの声が全国で渦巻いています。

中央労福協は、4月23・24日と5月22・23日の4日間、ニッポン・アクティブライフ・クラブ（ナルク）、退職者連合、高齢協（労協連）とともに「後期高齢者医療制度の撤廃！保険料の値上げは許さない！」国会前緊急行動に取り組みました。インターネットやクチコミで多くの高齢者が参加した衆議院第2議員会館前には、民主党、社民党、共産党、国民新党の衆参国會議員や反貧困ネットワーク代表の宇都宮健児弁護士と



事務局長の湯浅誠さん、評論家の樋口恵子さんも連帯してかけつけ、政治評論家の森田実さんからは「このような非人道的・差別的医療制度はただちに撤廃を」との連帯メッセージが寄せられました。また、各地の医師会による反対決議なども相次いでいます。この様子はNHK、民報各社により全国ネットで放映されました。

野党四党提出の後期高齢者医療制度廃止法案は6月6日に参議院で可決され、衆議院に送付されましたが、前日5日には中央労福協の笹森清会長が茨城県医師会原中勝征会長とともに参議院厚生労働委員会の参考人質疑で意見陳述を行い「75歳以上の方は戦争体験者で戦場に行かされた人たち。日本の復興を担い税金も保険料も払い続けてきた

人たちだ。この人たちが負担を増やされ、医者にはかかれないといわれている。国会による詐欺行為だ」「政府は、『高所得者（の保険料）は上がるかもしれないが低所得者は下がる』といつていた。これ一つみてもうそばかりだ」「世界に例のないこの制度はどうしても撤廃させなければならぬ」と強い決意を述べました。

人間らしい労働と生活を求める連絡会議

通称「生活底上げ会議」発足

反貧困全国キャラバン、

京都是9月29日から3日間

中央労福協、高橋事務局長も代表世話人に去る4月16日、人間らしい労働と生活を求める連絡会議、通称「生活底上げ会議」が発足し、代表に宇都宮健児弁護士（反貧困ネットワーク代表）、尾藤廣喜弁護士（生活保護問題対策全国会議代表幹事）、高橋均中央労福協事務局長の3名が就任しました。宇都宮代表は「貧困

問題への関心や格差をなくして行こうという力が強まっている。貧困に抗する運動を広げることが生活保護問題での反転攻勢になる。一緒に頑張っていきたい」と述べ、尾藤代表も「生活保護問題は制度改善を求めてもだめだ（生活保護の）最低基準は、最賃や雇用確保と密接な関係にある。生活保護制度をよくするため

には、労働問題と連携することが重要だし、全国に広げていかなければ運動は進まない」とあいさつ。高橋代表も「年収200万円以下、いわゆるワーキングプアが増えた。このままでは日本社会の底が抜けてしまふ。生活底上げ会議で頑張っていきたい」と決意を述べました。

中央労福協の笹森清会長は「思いを共有するということは極めて重要だ。今の時代、別々に運動をやっているようでは世の中を変えられることはできない」「同質の協力は『和』にしかならないが異質の協力は『積』になる。労福協運動として全面的に協力したい」とあいさつしました。同会議は、7月12日から「反貧困全国キャラバン」として街頭宣伝カーを東日本、西日本にそれぞれ一台走らせて各地を巡回。貧困が広がらないための施策や行動を政府や自治体、市民に呼びかける街頭宣伝活動を進めます。

地区労福協からの活動報告

口丹地区労福協

2007年10月31日(水)
ガレリア亀岡にて第14回の定期総会を開催し、川戸司法書士を講師に招き『クレサラ学習会』を行いました。講演では、職場での多重債務問題に対する労働組合・労働金庫の関わり方などわかり易く話され、参加者からは職場でもこのような学習会を催したいなどと好評でした。

2007年12月2日(日)には毎年恒例の“ふれ愛フエスタ”を開催し、『ブルームの丘』(滋賀県日野町にある滋賀県農業公園)にて、パーベキューや体験教室(ソーセージ作りやパン・バター作りなど)で親睦を深めました。参加者は、およそ100名(バス2台貸切)で職場の仲間や家族での参加で多くの皆様に喜んでいただきました。次年度以降の『暮らし豊か口丹』

丹後地区労福協

『元気が出る口丹』を目指す人々の輪を広げるため工夫を凝らし取り組んでいきます。

丹後勤労者統一研修及び ミーデー前夜祭開催

4月28日、例年行っている全勤労者統一ミーデー前夜祭を今回は、研修会をメインに地域勤労者とその家族の方々にも参加対象を広げ120名の参加のもと開催しました。

今回のテーマは、地域の環境問題と各組合活動においての課題や現状を報告いただきました。

私たちが住んでいる丹後地区に目を向けて環境について、「身近な環境保全」サブタイトル「今私たちにできること」と題して、NPO法人「エコねつと丹後」事務局長の味田さんより、地球温暖化問題への関心が

南山城地区労福協

6月1日(日)に三重県伊勢志摩温泉にて、第17回定期総会・第29回福祉研修会を開催いたしました。

定期総会では、2007年度の活動報告並びに、「職域・地域において私たち勤労者が連帯し、自主福祉活動を前進させる」ための取り組みを進めていくという2008年度の活動方針等、全ての議案が満場一致で採択され、新年度がスタートすることとなりました。

た。福祉研修会においては、第一部で全労済、エル・ユニオン京都、労働金庫の各福祉事業団体により、活動報告や取り組みの提案が行われました。第二部では、プロゴルファーの山手勝さんより「逆境からの挑戦・片腕ハンディキャップを乗り越えて」というテーマで講演を受けました。不屈の闘志で努力しプロゴルファーとして大成された経験談を、ユーモアを交えながらお話いただき、生きる勇気と希望を与えていただきました。

★第49回卓球大会

日時：9月28日(日)
場所：伏見港公園体育館
主管：京都卓球協会
◎参加者募集予定

★第59回勤労者文化祭野球大会

日時：10月4・11・25日(各土曜日)
場所：殿田球場
後援：京都軟式野球連盟(予定)
◎参加チーム募集予定

★第8回勤労者健康 スポーツフェスティバル

日時：10月19日(日)
場所：丹波自然公園
後援：京都府・京都市・京丹波町他(予定)

お引出し手数料全額還元サービス

おかえり。

ろうきんはもちろん
他行やコンビニATM・
CDでのお引出し手数料

0円

時間外手数料も
何回引出しても手数料

0円

※ご利用月の翌月末営業日に還元します。
※お振込手数料については還元対象になりません。

【対象となる口座】

- 個人のお客様が保有する当金庫のすべての普通預金口座
(無利息型含む)・貯蓄預金口座
- カードローン口座 (マイプラン・ろうきんiカード・生き活きカード)

※翌月末営業日時点での解約済口座や、近畿ろうきん扱いでなくなった口座は対象外となります。
※延滞となっているカードローン口座は対象外となります。

※たらくおなたに、すっこ。



【お引出しできる場所 (ATM・CD)】

全国のろうきんはもちろん。
●M+CS加盟店の提携共済金融機関
(郵便・信託銀行・地銀・第二地銀・信金・JA)
●ゆうちょ銀行
●セブン銀行
(セブン・イレブン・イトーヨーカードー)
●コンビニ
(ローソン・am/pm・ファミリーマートなど)

【ご入金できる場所 (ATM)】

全国のろうきんはもちろん。
●第二地銀・信金・信組
●ゆうちょ銀行
●セブン銀行
(セブン・イレブン・イトーヨーカードー)
●第二地銀・信金・信組では一部お取り扱いできない金融機関・店舗がございます。入金可能なATMには「入金ネット」の表示がされています。

儲けない金融機関

近畿ろうきん

<http://www.rokin.or.jp>

0120-191-968

ZENROSAI NEWS

話せる全労済。

お客様の声にしっかり耳を傾け
最適な保障をご提案します。



FPによる
無料保障相談
受付中

■お問い合わせ先■

全労済京都府本部 075-812-7800

(全京都勤労者共済生活協同組合)

北部支所 0773-75-6109

中央支所 075-812-7800

南部支所 075-603-6031

保障のことなら 全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

<http://www.zenrosai.coop>

…京都の生協の連合体が京都府生協連です… 食の安全・くらしの安心の実現をめざして

19会員生協 のべ組合員数65万3,921人

会員生協

<地域生協>

京都生活協同組合
生活協同組合エル・コープ
生活協同組合コープ自然派京都

<職域生協>

京都府庁生活協同組合

<医療生協>

京都医療生活協同組合
乙訓医療生活協同組合
やましろ健康医療生活協同組合

<共済生協>

全京都勤労者共済生活協同組合

<大学生協>

京都大学生生活協同組合
同志社生活協同組合
立命館生活協同組合

龍谷大学生生活協同組合

京都府立医科大学・府立大学生生活協同組合

京都工芸繊維大学生生活協同組合

京都教育大学生生活協同組合

京都狭学園生活協同組合

池坊学園生活協同組合

京都経済短期大学生生活協同組合

大学生生活協同組合京都事業連合

京都府生活協同組合連合会

会長理事 小林智子

〒604-0851京都市中京区烏丸夷川東南角せいきょう会館2F

Tel 075-251-1551 Fax 075-251-1555

URL: <http://ha2.seikyoku.ne.jp/home/Kyotofu.Seikyoren/>

新生 有限会社エル・ユニオン京都

長年に渡りご利用いただいております京都労福協旅行生活協同組合(ユニオントラベル京都)は2007年度の総会を持ちまして旅行業の休止を決定しました。この度、車・事務機等のリースでお世話になっている有限会社エル・ユニオン京都におきまして京都府の許認可を受け、旅行業の取り扱いも可能になりました。皆さまのご利用をよろしくお願い致します。

会議・宿泊・バスツアーなど

宴会・昼食・セミナーなど

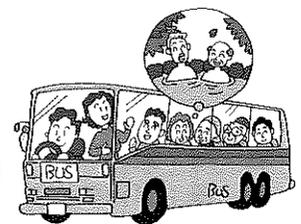
京都府知事登録 3-554

商号

ユニオントラベル京都

事務所所在地はラポール

京都6階(京都労福協内)



～事務機器・車リース・旅行のことなら～

エル・ユニオン京都

京都市中京区四条御前西入る

TEL075-801-1501/FAX075-802-4568